

蒲田東特別出張所管内			★発行 地域力推進蒲田東地区委員会 ★編集 地域情報紙「かまた東」編集委員会 ★事務局 蒲田東特別出張所 蒲田本町2-1-1 TEL (5713)2001
人口	男	24,522 名	
	女	22,249 名	
	計	46,771 名	
世帯数		30,857 世帯	
令和7年7月1日現在			

救命救急に役立つ知恵～CPR と AED について～

心停止は突然に発生します。心臓が止まって倒れた人を救命するためには、バイスタンダー（その場に居合わせた人）による応急手当がとても重要です。東京都内では、119 番通報から救急車が到着するまで平均 7～8 分を要し、救急隊員や医療従事者では決して埋めることのできない時間が存在します。かけがえのない命を救うため、バイスタンダーによる速やかな CPR（心肺蘇生法）と AED（自動体外式除細動器）の使用が不可欠です。

CPR について

CPR（心肺蘇生法）は、心停止傷病者に対する一次救命処置として、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせたものを指します。（写真1）（写真2）これにより、心臓が停止している間も血液循環を維持し、酸素供給を脳や重要臓器への損傷を最小限に抑えることが可能になると言われています。適切な CPR は、心停止状態にある傷病者の救命効果を大きく引き上げるだけでなく、社会復帰（これまでと同様の日常生活を送れる状態）の可能性を高める重要な要素となります。胸骨圧迫は、心停止が疑われるあらゆる人に対しておこないますが、人工呼吸は、バイスタンダーがその訓練を受け、技術を身に付けていることを前提に、かつ人工呼吸をおこなう意志がある場合に実施します。



【写真1_救命の連鎖】



【写真2_心肺蘇生法】

AED について

AED（自動体外式除細動器）は、突然の心停止傷病者に対し、機械の指示に基づき電気ショックを与えることで心臓の正常なリズムを回復させる機器です。特に心室細動や心室頻拍といった致死的不整脈が原因の心停止に対して有効です。機器の特徴は操作の簡便さにあり、音声案内と視覚的指示によって、医療従事者でない区民の皆さんも直感的に操作が可能となるように設計されています。近年では、自動で電気ショックをおこなう「オートショック AED」も市販されるようになり、さまざまな機種が存在します。（写真3）

AED は平成 16 年（2004 年）7 月に医療従事者以外の一般市民による使用が認可され、それ以降、急速に普及が進みました。現在では、公共のスペースや学校、交通機関、スポーツ施設など、幅広い場所に設置され、多くのバイスタンダーに活用されています。なお、AED の設置場所には「AED マーク」が掲げられており、このマークは誰でも AED の設置を容易に理解できる統一化されたマークとして、日本産業規格（JIS 規格）に制定されています。（写真4）



【写真3_日本国内で使用されている AED の一例】



【写真4_JIS 規格 AED マーク】

（2面へ続く）

緊急時に必要な機器～AED の場所に関して～

誰かが目の前で倒れた場合、すぐに AED が必要となります。大田区ホームページでは区内の AED 設置場所一覧および全国の AED 設置場所が閲覧できるリンクが掲載されています。AED 設置場所一覧のページがすぐに閲覧できる二次元コードを掲示します。



【AED 設置一覧二次元コード】

読み取ると

（読み取り後）大田区ホームページ



大田区内
AED 設置場所

「日本救急医療財団 全国 AED マップ」



日本救急医療財団のサイトより

全国の
AED 設置場所
例：蒲田駅周辺

大田区内の AED 設置場所一覧



講習会のお知らせ

健康医療政策課より

（1面より続く）

CPR や AED の使用方法等を学ぶために東京消防庁の各消防署等では、救命に関する講習会を開催しています。講習に関するお問い合わせは、最寄りの消防署や消防出張所、公益財団法人東京防災救急協会において受け付けています。また、東京消防庁ホームページでは、インターネット上で応急手当を学べる「電子学習室」を開設していますので、是非ともご覧ください。（写真5）

ひとりでも多くの皆さんが応急手当に関する知識と技術を身に付け、「あなたの大切な人を、そして誰かの大切な人の命を救うために」できることをできる範囲で、周囲の人達と協力しながら、勇気をもって行動することが大切です。



【写真5 東京消防庁電子学習室二次元コード】
蒲田消防署 警防課 地域防災担当

中学生の思いと決意

東蒲中学校三年

なりた てんた
成田 典太

四月七日、蒲田消防署にて初めて普通救命講習が行われました。前回の活動までは、TRT（東蒲レスキューチーム）として活動していきおり、D級ポンプという小型のポンプを使用し、消火訓練などに取り組んでいました。

判断されたため、今回から普通救命講習が始まりました。普通救命講習では、動画での説明や人形での心臓マッサージ、練習用AED、テキストを読む、などから救命の基本を学びました。その中でも特に心に残ったのが、バイスタンダーの役割です。

バイスタンダーは突然の事故や病気で人が人や急病人が発生したときに近くに居合わせた人のことをいいます。バイスタンダーが応急手当を速やかに行うことで助かる可能性がとても高くなることから、これからこのような場面に遭遇したら、速やかに応急処置ができればいいです。



TRT（東蒲レスキューチーム）活動

しかし、D級ポンプの数が少ないなどの理由から、思うような活動が難しいと



今年度から始めた救命講習

※本号では、19の顔と声をお休みさせていただきます。

ART FESTIVAL 蒲田東2024

蒲田東地域シニア会会長

橋本 俊夫

私共、蒲田東地域シニア会では、会員の健康維持と予防のための活動として指先を繊細に操り、仕上げてゆく手芸作品などを推奨してきました。また、スキル向上とモチベーションの維持を目的に、作品展などへの参加を進めてまいりました。しかし、例年楽しみにしていた発表の場が展示コーナーの縮小でなくなることに

治会連合会と蒲田東地域シニア会共催というかたちで「ART FESTIVAL蒲田東2024」の名のもと、事業が大きく動き出し、地域の方々や出張所のご協力を得て、出展をいたしました。特筆すべきは、出張所の職員の準備から当日までの目くばり、気づきです。その細やかさにはただただ感謝するばかりでした。この催しの成功が今後どのように変化してゆくか楽しみでもあります。



展示会に訪れた多くの方々

これを機に今年度は大田区民ホール・アプリコ展示室にて、蒲田東地区自

新所長の紹介 蒲田東特別出張所



山口 将司

やまぐち まさし

蒲田東地区の皆様、こんにちは。4月に蒲田東特別出張所の所長に就任しました山口と申します。ここま

リーダー19

会長大いに語る 第十四回



本蒲田二丁目町会会長

山根 洋二
やまね ようじ

私は生まれも育ちも蒲田一丁目です。団塊の世代に生まれ、小学校は蒲田小でした。六クラスあった小学一年生の時は教室が足りず、午前の「はやばん」午後の「おそばん」の三クラスずつで授業をしていました。北蒲小が新設された二年生の時、校庭で始業式が終わると、北蒲小転校組が列を作って校門から出て行くのを、手を振りながら別れた事が思い出されます。

蒲田小のPTA役員に誘われた時、私は消極的な性格でしたが、友人が「君ならできる。むしろ向いている。」と言ってくれ、受ける事にしました。その後、町会役員、PTA副会長、会長と経験する過程で、青少年

対策委員、体育指導員になりました。通称「体指」では様々なニュースポーツを研修し、一般に広める役割を担い、その結果現在も

「パドルテニス」「ボールdeウォーク」「ボッチャ」「モルック」等のスポーツを楽しんでいます。また、町会関係では、昨年大田区から、副会長七年、会長十三年で二十年表彰を受けました。町会の祭

礼では、百寿会の方々の揃いの浴衣の盆踊り、翌日の「お楽しみ会」など、多くの参加者で非常に盛り上がりします。十二月の餅つき大会では、地域の児童館の職員も手伝って、五〇キロの餅をつき、これ

を目当てに長い列ができます。



盛り上がる！
祭礼の盆踊り

私は、本町会がこのような良いスタッフに恵まれていることに感謝し、今後も町会活動を皆で盛り上げたいと思います。

総合体育館のリニューアル

スポーツ推進課

大田区総合体育館は、区民にスポーツの良質な「する」「みる」「ささえる」機会の提供を行うとともに、区民の生涯スポーツ

の活動拠点となることを目的として、昭和四〇年に建設した旧大田区体育館を改修し、「大田区総合体育館」として平成二十四

年六月三〇日に開館した施設です。特定天井その他改修工事の実施に伴い令和六年四月一日から十二月二十七日まで、休館を

しました。特定天井とは高さが六mを超え、面積二〇〇㎡を越

える吊り下げ式の天井を指します。国の想定によると、これらの天井は大地震発生時において落下する可能性があり、災害時に

大きな被害を及ぼします。大田

区総合体育館は大田区地域防災

計画で帰宅困難者を収容する一時滞在施設や蒲田東地区の補完

避難所として位置づけられている等、災害対策において重要な

拠点施設となることから、安全

を確保するための対策を施す必

要がありました。工事ではメインアリーナ、サブアリーナ、ピロ

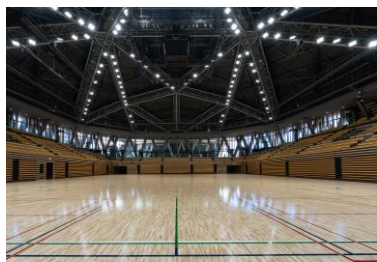
ティの特定天井に該当する天井を撤去し、地震発生時に落下

を未然に防ぐ処置を行いました。また、キズ等を補修するた

め、アリーナ、サブアリーナの床研磨を行ったほか、照明設備のLED化の工事を併せて実施し、無事に完了いたしました。

再開後はバスケットボールのプーリーグやボクシング世界タイトルマッチなどのイベントを開催した他、区民の方々に多くご利用いただいております。賑わいを取り戻しております。

約十カ月に及ぶ休館により、住民の皆様にはご不便をおかけいたしました。引き続き区民に愛される施設として運営を進めてまいります。



工事後の大田区総合体育館
メインアリーナの様子

編集委員紹介

令和7年度を迎え編集委員の交替がありましたのでお伝えいたします。

編集委員長

蒲田三丁目町会

山崎礼子

(新) 副編集委員長

蒲田四丁目町会

小倉孝子

編集委員

東蒲田一丁目自治会

田村和夫

蒲田一丁目自治会

杉山敬次郎

東蒲田二丁目町会

落合武弘

南蒲田二丁目南町会

塩野賢一

南蒲田二丁目自治会

大脇多恵

南蒲田二丁目町内会

高田和男

南蒲田三丁目町会

秋成京子

蒲田二丁目東町会

鴨井從雄

蒲田二丁目自治会

菊地規起

京浜蒲田町会

加藤郁夫

蒲田本町二丁目町会

遠藤末子

本蒲田一丁目町会

鈴木寛規

蒲田五丁目南町会

佐藤慎一郎

新しい編集委員の方々

東蒲田一丁目町会

宇於崎幸代

蒲田東口町会

大森憲之

蒲田公団自治会

榎本日出子

蒲田本町一丁目町会

石井蘭子

交代頂いた編集委員の方々の長年のご協力に感謝申し上げます。新編集委員の方々の新鮮な感性を期待致しております。